NIEしもつけ ワークシート ①

下野新聞

下野新聞の記事を使って社会への関心や読解力を高める「ワークシート」をスタートします。出題するのは、県小・中・高校教育研究会の国語・社会部会に所属する教員たち。ぜひ挑戦してください。（毎週日曜日掲載）

小学校高学年向き

年　組

ソメイヨシノ 光で色づく

弘前大「□と□」でピンク色に

ソメイヨシノの花びらがピンクに色づく鍵は、つぼみに当たった青と赤の光だった―。弘前大（青森県弘前市）で果樹園芸学を専門とする荒川修教授（63）らの研究チームが突き止め、国際園芸学会誌で発表した。桜の名所として有名な弘前公園で剪定された枝が実験に使われ、発見に一役買った。

外で切り出して室内に置いたソメイヨシノは花びらが白っぽいままであることが知られていたが理由は不明だった。しかし照明を工夫して、青と赤の光を多く含む太陽光と似た環境をつくれば、室内でもピンク色に咲かせることが可能になる。

研究チームは開き始めのつぼみに発光ダイオード（ＬＥＤ）の光を当てて、花びらの色づき具合や色素の量を調べた。青の光でうっすらと色づき、同時に赤の光も当てると色素が増え発色が進むことが分かった。赤だけではほとんど色づかなかった。室内の照明として広く使われる蛍光灯の光は太陽光とは異なり、青と赤の光が少ないため色づきが悪くなるという。

弘前公園では毎年２、３月、桜の花付きを良くするために「桜守」の市職員が枝を剪定する。一部を市民に無料配布しており、研究チームも数十本の提供を受けた。

室内で日光を当てずに咲かせたソメイヨシノ（荒川修教授提供）

剪定＝果樹・茶・桑などの生育や実りをよくしたり、樹形を整えたりするために、枝の一部を切ること。

（2020年２月９日付・下野新聞18面）
記事は加工しています

設　問

【１】実験で使われた枝はどこで剪定された枝ですか。

【２】外で切り出して室内に置いたソメイヨシノについてどんなことが知られていましたか。答えが分かるところに線を引いてから答えを書きましょう。

【３】見出しの〝「□と□」でピンク色に〟に入る色の名前を書きましょう。

【４】記事を読んで分かったことや考えたことを書きましょう。記事を読んで大切だと思った言葉（キーワード）に線を引き、キーワードを使って分かったことや考えたことを書きましょう。

出題・監修は県小学校教育研究会国語部会・大島康正宇都宮市五代小副校長